

片マヒ自立研究会との出会いと活動

三好 務

片マヒ自立研究会は、平成3年12月、第1回の集いが持たれてから、18年9月を以って節目の100回を迎えた。会員の皆様とともに会の今日の飛躍を心よりお慶び申し上げ、また、会を立ち上げた森山志郎氏のこれまでの努力に対して敬意を表したい。

私とこの会の出会いは、平成8年頃、戸塚区上矢部ケアプラザにおいて行われた森山氏の講演会場で、聴取者として、初めて交流が生まれた。以後、同氏が主宰する「片マヒ自立研究会」に出席させていただき勉強を重ねて来た。

当時は、隔月に一度の割合で桜木町や横浜の公共の施設で集いが持たれ、障害者の自立・社会復帰・会員の相互啓発などを目的に活動して来た。

その内、集いも毎月開かれるようになり、会の活動も益々活発化していく。集いに参画の人は、前向きなやる気のある方が多く、埼玉県や都内、遠くは岐阜県から毎月参加の人もいる充実振りである。

また、地元でそれぞれ障害者の自立のために活躍中の方が多く、何事にも前向きに活動している。

私も昭和24年に業務障害で右手五指機能障害、平成元年脳梗塞で右片マヒと、二回の障害を抱えながら、その壁を乗り越えて今日まで頑張ってきた。従って、障害を克服した経験も豊富で、これらを会員の皆様に披瀝して参考にしてもらっている。

当初は、私も人前でのスピーチなど覚束

ない状態だった。それが会に出席している間に、森山会長の前向きな指導のもと、スピーチも何とかできるようになった。今までに多くの障害者の方が、この会から社会復帰を果たしていった。

また、不幸にも障害になった方が、会の噂を聞いて藁をも掴む気持ちで集いに参加し、会員の立ち直りなどの話を聞いて、参考にしている方が多い。

また、数名の会員の方が、片マヒ障害者のための指針となる参考図書を出版して、障害者の自立自助のためのアドバイスを行っている。これらが片マヒ自立研究会の活動の概要。

先ずはともあれ森山氏が今日までの長い年月、会の運営のため尽力されたこと、その蔭には、何時も森山氏と行動を共にしている奥様の陰の力があることを忘れることはできない。その結果が100回を迎えるに至ったこと、誠に喜ばしく、ここにお祝い申し上げると共に、ご夫妻の益々の弥栄と片マヒ自立研究会の今後の発展を祈念する。

